

令和3年度 果樹茶業研究会
「落葉果樹研究会」「寒冷地果樹研究会」「果樹病害研究会」「果樹虫害研究会」
開催要領

1. 開催趣旨

落葉果樹・寒冷地果樹及び果樹病虫害に係る試験研究の問題を取り上げ、技術情報の交換、研究課題の整理、研究手法の深化等を図る。また、果樹関係試験研究機関等の研究者相互の連携の強化や試験研究の効率化に資するため、本研究会を開催する。

2. 主催

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構植物防疫研究部門

3. 参集範囲

農林水産省、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関、普及指導機関及び大学等の関係者、主催者が必要と認める者を対象とする。

4. 研究会の開催概要

令和3年度果樹茶業研究会は、ZOOMによるリモート開催とする
各研究会の開催日時は以下の通り

会議名	開催日時
寒冷地果樹研究会	令和4年2月1日（火） 13:10～17:15
全体会議	令和4年2月2日（水） 10:00～12:00
落葉果樹研究会	令和4年2月2日（水） 13:10～17:00
果樹病害研究会	令和4年2月3日（木） 10:00～16:30
果樹虫害研究会	令和4年2月4日（金） 10:00～17:00

5. 参加申込方法

別紙1の令和3年度果樹茶業研究会・出席申込書に、必要事項を場所ごとにとりまとめて農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室宛にE-mailで令和3年12月24日（金）までに申し込んで下さい。

申込先のE-mail：kikaku-fruit04@naro.affrc.go.jp

出席申込書（別紙1）は以下のURLからダウンロード可能です。

URL：<http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

6. 問合せ先

- 出席申し込み・果樹茶業研究会全般に関する問い合わせ
農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室
E-mail : kikaku-fruit04@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6451

- 寒冷地果樹研究会に関する問い合わせ
農研機構果樹茶業研究部門果樹品種育成研究領域 根角博久
E-mail : nesumi@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6152

- 落葉果樹研究会に関する問い合わせ
農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域 草場新之助
E-mail : kusa@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6461

- 果樹病害研究会に関する問い合わせ
農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 須崎 浩一
E-mail : kcsuzaki@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6156

- 果樹虫害研究会に関する問い合わせ
農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 土`田 聡
E-mail : toda@naro.affrc.go.jp 電話 : 0846-45-4762

7. その他

- ZOOMの接続数には上限があります、上限を超える申し込みをいただきました場合は、ご参加をお断りする場合があります。1台のパソコンで接続して、複数の方で視聴いただくなど、同一場所での接続数を抑えていただけるよう、ご協力をお願いします。
- 各研究会の接続方法は、出席申し込みをとりまとめた上で、ZOOM接続者宛てにメールでお知らせします。
- 研究会ごとに接続方法（ミーティングIDとパスコード）が異なります。
- 接続方法をお知らせするときに「Zoom表示名」をお知らせしますので、必ずその名前を使用してください、ご参加ください（参加できない場合があります）。
- 各研究会の要旨は接続方法の案内とともにお知らせします。
- 各研究会の開始時間の1時間前から接続可能にします。

寒冷地果樹研究会

テーマ「持続的発展を可能にする寒冷地果樹の栽培技術体系を考える」

令和4年2月1日（火） 13:10～17:15

【趣旨】

寒冷地果樹（リンゴ）産地における課題の現状やこれまでの技術開発の取り組みを踏まえ、持続的な発展を可能にする技術体系確立に向けて、情報共有と論議を進めることでより一層の連携と研究推進を図る。

【プログラム】

基調講演

座長：根角博久（農研機構果樹茶業研究部門）

1. 地球温暖化と省農薬化を踏まえたリンゴ栽培の課題と展望 (13:20～13:50)
弘前大学 農学生命科学部 生物共生教育研究センター 伊藤 大雄
2. 持続可能なリンゴ産地の確立を目指した青森県の取り組み (13:50～14:20)
青森県農林水産部りんご果樹課 三上 道彦

話題提供

1. リンゴ栽培の省力樹形に関するこれまでの取り組みと課題 (14:20～14:35)
農研機構果樹茶業研究部門 花田 俊男

(事例報告)

- ①わい化密植栽培におけるかん水を利用したポット養成フェザー苗の生育促進 (14:35～14:45)
岩手県農業研究センター 遊佐 公哉
- ②リンゴにおけるジョイント栽培 (14:45～14:55)
宮城県農業・園芸総合研究所 高嶋 名世瑠
- ③多雪地域でのジョイント栽培・早期開心形 (14:55～15:05)
秋田県果樹試験場 高橋 功
- ④朝日ロンバス方式 (15:05～15:15)
山形県農業総合研究センター園芸農業研究所 佐々木 恵美
- ⑤長穂接ぎ木法・主幹切り下げによる樹形改良 (15:15～15:25)
福島県農業総合センター果樹研究所 穴澤 拓哉
- ⑥高密度栽培・1年育成フェザー苗 (15:25～15:35)
長野県果樹試験場 檜本 克樹

質疑 (15:35～15:45)

(休憩 10分)

2. リンゴにおける天敵を主体としたハダニ防除体系 – <w天> 防除体系 – の取り組み (15:55～16:25)

農研機構植物防疫研究部門 岸本 英成

総合討論 (16:25～17:15) 座長：岩波 宏 (農研機構果樹茶業研究部門)

パネル (話題提供者)

全体会議

テーマ「農林水産省および農研機構の最近の情勢」

令和4年2月2日（水） 10:00～12:00

【趣旨】

農林水産省では新たな「食料・農業・農村基本計画」がR2年3月に策定され、農研機構ではR3年4月から組織改編を行い、第5期中長期計画に沿った研究開発が行われている。また、R3年5月には「みどりの食料システム戦略」が策定されている。そこで、「みどりの食料システム戦略」や農研機構の研究開発方向について、情報を共有し、効率的な研究開発に資する。

【話題提供】

- 1) 「我が国の果樹農業の現状と振興施策について」
小口 悠（農林水産省農産局 果樹・茶グループ果樹振興班 課長補佐）
- 2) 「第5期中長期計画に基づく農研機構の組織と研究開発方向」
山本勝利（農研機構 企画戦略本部長）

落葉果樹研究会

テーマ「最近の落葉果樹の諸問題の解決に向けて」

令和4年2月2日（水） 13：10～17：10

【趣旨】

落葉果樹の栽培分野に関連して、樹種別に、①核果類、②ナシ、③カキ、④ブドウのセッションを設け、最近のトピックス等の話題を提供し、情報共有と論議を進めることで、落葉果樹栽培分野のより一層の推進を図る。

① 核果類（13：10～14：10）

【話題提供】

- 1) モモの盛土式根圏制御栽培法について
栃木県農業試験場 安達 美佳
- 2) ウメ「白加賀」の陥没症発生対策
群馬県農業技術センター 中野 葉子
- 3) ウメ「南高」の摘心処理およびカットバックによる省力的な青梅栽培
和歌山県果樹試験場うめ研究所 土田 靖久

② ナシ（14：10～15：10）

【話題提供】

- 1) ニホンナシ「甘太」における収穫適期の検討ならびにジベレリンペースト処理が収穫期および果実品質に及ぼす影響
埼玉県農業技術研究センター 柴崎 茜
- 2) ニホンナシのいや地リスクの評価法及びいや地対策技術の開発
千葉県農林総合研究センター 金子 夏樹
- 3) 携帯型分光計を用いた赤ナシ果皮地色の非破壊評価法
農研機構果樹茶業研究部門 山根 崇嘉

-----休憩（20分）-----

③ カキ（15：30～16：10）

【話題提供】

- 1) 年末贈答に対応できるカキ「太秋」の貯蔵技術
岐阜県農業技術センター 鈴木 哲也
- 2) カキわい性台木「豊楽台」の開発とその特性
島根県農業技術センター 大畑 和也

④ ブドウ（16：10～17：10）

【話題提供】

- 1) 光と温度処理による収穫後のブドウの着色改善技術
農研機構果樹茶業研究部門 東 暁史
- 2) ブドウの新梢管理装置の開発
群馬県農業技術センター 柚木 秀雄
- 3) アブシシン酸生合成阻害剤の葉面散布によるブドウ果実の成熟調節の可能性
千葉大学大学院園芸学研究院 齋藤 隆徳

果樹病害研究会

「果樹生産における低環境負荷防除技術のこれからを考える」

令和4年2月3日（木）10：00～16：30

【趣旨】

SDGsや環境に関する関心が国内外で高まり重要な行動規範としてあらゆる産業に浸透しつつある。自然資本を利活用することで成り立ってきた農業においては、将来にわたるその持続的な利活用を可能にするため環境調和型の生産技術開発が求められている。このような流れの中で先ごろ策定された「みどりの食料システム戦略（みどり戦略）」において植物保護分野では化学農薬の50%低減が謳われている。そこで「みどり戦略」における病害防除の位置付けについて行政部局と情報共有するとともに、果樹生産における低環境負荷防除技術のこれからについて考えたい。

【話題提供】

- 1) 「みどりの食料システム戦略と病虫害防除について」 (10：10～10：40)
農林水産省消費・安全局植物防疫課 岡田和秀
- 2) 「青森県における化学農薬を削減したりんごの防除技術に関するこれまでの研究」 (10：40～11：20)
青森県産業技術センターりんご研究所 花岡朋絵
- 3) 「落葉処理によるナシ黒星病被害の抑制」 (11：20～12：00)
宮城県農業・園芸総合研究所 大場淳司
～ 休憩 ～
- 4) 「ブドウにおけるべと病抵抗性機構の研究と抵抗性品種育成への応用」 (13：00～13：40)
農研機構果樹茶業研究部門 清水健雄
- 5) 「ブドウ晩腐病の効率的防除法の確立に向けたCGSC構成種の特性把握」 (13：40～14：20)
長野県果樹試験場 横澤志織
～ 休憩 ～
- 6) 「みどり戦略におけるグリーン病研究の展望」 (14：30～15：10)
農研機構植物防疫研究部門 藤川貴史
- 7) 「温州ミカンで実施した有機栽培プロジェクトの成果」 (15：10～15：50)
佐賀県農業試験研究センター 井手洋一
～ 休憩 ～
- 総合討論 (16：00～16：30)

【会議の進行について】

- 1) 新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、今年度の果樹病害研究会は寒冷地、落葉、常緑（グリーン病研究会を含む）を合わせて完全オンラインで実施します。会議ソフトはZoomを使用します。なお接続方法につきましては追ってお知らせします。
- 2) 講演要旨とともに円滑な会議進行のため質問票を事前に配布します。講演内容について質問のある場合、別紙2 質問票にご記入の上、令和4年1月24日（月曜日）までにE-mailで以下の問い合わせ先までお送りください。

3) 今年度はシンポジウム形式で開催し、概要書の検討は割愛させていただきます。なお概要書は別便でお送りします。

4) 果樹病害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

5) 別紙2 質問票は以下のURLからダウンロードしてください。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

(果樹病害研究会問い合わせ先)

〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷92-24

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病害虫防除研究領域 須崎 浩一

E-mail:kcsuzaki@affrc.go.jp、電話 : 019-645-6156

果樹虫害研究会

「最近の寒冷地・常緑・落葉果樹害虫の発生と研究動向」

令和4年2月4日（金） 10:00～17:00

【趣旨】

近年、新たな害虫の侵入・定着への対策や、気候の変動に伴う防除適期の見直し、薬剤抵抗性対策など、果樹害虫防除の現場においても、様々な対応が求められている。寒冷地、常緑・落葉果樹害虫各研究会の合同開催となる果樹虫害研究会では、重点検討テーマとして近年問題となっている侵入害虫を取り上げるとともに、薬剤抵抗性問題についても話題提供を行う。また、最近の果樹害虫の発生動向やその対応への取り組みについても各県から話題を募り、全国規模での情報交換を行う。これにより、果樹害虫防除に関する新たな問題点などの情報を共有するとともに、その解決方法についても意見交換を行う。

【話題提供】

1. 重点検討テーマ「近年問題となっている侵入害虫とその防除対策」

1) ミカンコバエ種群の誘殺状況と防除状況について

農林水産省消費・安全局植物防疫課 中西 靖裕

2) モモやサクラを加害するクビアカツヤカミキリの被害と対策

農研機構植物防疫研究部門 上地 奈美

森林研究・整備機構 森林総合研究所 加賀谷 悦子

3) 特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除対策

和歌山県果樹試験場かき・もも研究所 弘岡 拓人

4) 徳島県におけるヨコバイの一種 *Singapura shinshana* (matsumura) の発生について

徳島県立農林水産総合技術支援センター 向 椋太郎

5) 侵入害虫ビワキジラミの概要と防除に向けた取り組み

農研機構植物防疫研究部門 井上 広光

6) チャノキイロアザミウマC系統のその後と近縁・類似種について

農研機構植物防疫研究部門 土`田 聡

2. 特別講演

ハダニの薬剤抵抗性と遺伝的変異

京都大学大学院農学研究科 刑部 正博

3. 各県等における最近の課題

令和3年度の果樹害虫発生動向、防除技術、防除に関する問題点などに関わる課題を広く募集する。

【開催方法について】

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、今年度の果樹虫害研究会は完全オンラインで実施します。会議ソフトはZoomを使用する予定です。接続方法につきましては追ってお知らせします。

【発表課題の募集について】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1 課題あたり15分～20分程度を予定しています。申し込み者多数の場合には、発表時間や発表者数を調整させていただきますので予めご了承下さい。
- 2) 内容は特に指定いたしません。各研究機関で重点的に取り組んでいること、新規に発生が認められた害虫、最近増加してきた害虫、防除等での対応に苦慮している害虫、新しい防除技術等々、果樹害虫全般について情報交換・意見交換をしたいことであれば何でも結構です。お気軽にお申込み下さい。
- 3) 発表を希望される方は、別紙3の「虫害「情報交換」課題発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、E-mailで農研機構植物防疫研究部門 果樹茶病害虫防除研究領域 土`田聡 (toda@affrc.go.jp) までお送り下さい。資料の提出期限は令和3年12月24日(金)です。

※果樹虫害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

※別紙3の課題発表申込書は以下のURLからダウンロードして利用可能です。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

(果樹虫害研究会問合せ先)

〒739-2494 広島県東広島市安芸津町三津301-2

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病害虫防除研究領域 土`田 聡

E-mail: toda@affrc.go.jp TEL: 0846-45-4762

果樹病害研究会質問票

研究会の当日もチャットでの質問を受け付けますが、会議の進行を円滑に進めるため、講演要旨をご覧いただいた後、事前に質問を受け付けます。

話題提供者に質問したい事項がございましたら、この質問票にご記入しご返送ください。いただいた質問は話題提供者に伝え、当日の質疑応答の中で回答させていただきます。以下の事項をご記入の上、農研機構植物防疫研究部門・須崎（kcsuzaki@affrc.go.jp）までご送付ください。

なお質問内容を話題提供者に伝える都合上、締め切りは令和4年1月24日（月曜日）までとします。

- (1) お名前、所属、メールアドレス

- (2) 質問したい話題提供者名

- (3) 質問内容（簡潔にお書きください）

※お名前等の個人情報につきましては、本研究会以外で使用することはありません。

